

○第8回長門市部活動改革推進協議会 会議録（概要版）

日時：令和6年7月31日（水）午後6時30分～午後7時30分

場所：長門市役所4階会議室

出席者：協議会委員14名（代理1名）、オブザーバー1名、事務局10名

■事務局

こんばんは。本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。ただ今より、長門市部活動改革推進協議会を始めます。まず、会長よりご挨拶申し上げます。

■会長あいさつ

改めまして、皆様こんばんは。暑い中お集まりいただきありがとうございます。

国より示された部活動改革の推進について、本日で丁度半分という段階にきています。一昨日、県内13市の教育長会が宇部市で開催され、議題の一番にこの部活動改革について協議しました。また、昨日は山口県部活動改革推進協議会が開催され、下関市、防府市、長門市が事例発表を行いました。

いずれの会議においても、現在、市町による移行の考え方、進捗状況に大きな差異が生じているということを強く実感したところです。山陽側の都市部であれば、地域にクラブチームや文化サークルが多数あり、学校部活動を停止することのみをもって、地域移行がある程度実現するという考え方があります。また、規模の大きい学校の割合が山陽側は多いため、現在でも部活動の選択肢が確保され、指導者を教員から地域住民に変えていくことで地域移行に対応できると考える市もあります。

学校外に生徒がスポーツ、文化に親しめる環境があるとは言い難い状況にあり、また小規模中学校を有する本市においては、部活動の選択肢が少ない状況にあることは以前から課題であり、市として地域部活動の受け皿をつくるとともに、選択肢の確保のためにバスによる活動場所への移動を行うなど、現在ハードルの高い挑戦を行っています。バスでの移動を実現し、生徒に活動の選択肢を確保してほしい、こういう要望はおよそ10年前から保護者や地域からあがっており、今回の地域移行をきっかけとして、長年の要望、課題を解決しようとして取り組んでいるところです。

前置きが長くなりましたが、本日は4つの議題と意見交換を予定しています。そのうち議題3「クラブの活動日と活動時間」については、本日の協議会で議決をお諮りすることになるかと考えています。困難な挑戦であり、1歩進んで半歩下がるということを繰り返しながら、部活動地域移行準備室を中心に取り組みを進めているところですが、部活動地域移行準備室を市長部局の観光スポーツ文化部に設置したことも、部活動地域移行は市をあげて取り組むというメッセージであります。委員の皆様には引き続きご意見を賜りますようお願いし、私からの挨拶といたします。本日はどうぞよろしく申し上げます。

■事務局

ありがとうございました。これからの議事進行については、会長にお渡ししたいと思しますので、どうぞよろしくお願いします。

■会長

議事を進行させていただきます。

早速、議題1「一部実証事業」について、事務局から説明をお願いします。

■事務局

それでは説明します。議題1「一部実証事業（卓球とレククラブ）」についてです。

まず、菱海卓球クラブについて、前回と少し変わった部分があります。8月24日から開催予定でしたが、9月からのスタートとし、また9月中は無料体験会として開催したいと思います。10月以降に参加する場合は、事前申し込みをしていただき、1回100円の参加費負担とします。基本的には毎週水曜日の放課後90分程度の全23回の活動と、毎週土曜日15時から17時の全17回の活動を予定しています。部活動のない日時に開催しますので、現在部活動に入っている生徒も参加できます。テスト期間や学校行事がある日は開催しません。会場は、菱海中の体育館を利用します。指導者は、長門市卓球協会から派遣をお願いしており、現在10人程度の内諾を得ています。2学期が始まってから学校で募集チラシを配布していただき、特に9月は無料体験会なので、気軽に生徒に参加してほしいと思います。

続きまして、三隅中のレククラブです。6月から活動を開始し、学校運営協議会によって企画運営され、私たちが初日にお伺いして一緒に活動させてもらい、本当に楽しい時間でした。これも部活動のない日に開催され、主に水曜日が多く、時間的には大体1時間から1時間半されていますが、参加する生徒数も徐々に増えています。

バンドクラブのギターは、教員も参加され、地域住民も一緒に学べる内容です。小さい達成感が日々あり、全員で楽しみ、本当に笑顔で学び合っているなという感じがしています。

また、イラスト絵画クラブは、油絵に挑戦されているということで、文化祭での展示を目指して活動されています。夏休み中も集まれるときには集まろうということ聞いていますし、これからさらに文化祭に向けての活動を展開されていくと思います。

■会長

菱海中の卓球、三隅中のレククラブの報告、これからの動きについて説明がありました。この2つについて紹介がありましたが、ご意見やご質問等はありませんか。状況の補足でも大丈夫です。

■委員

今、実証事業の1つの取り組みで、三隅中レククラブの説明がありましたが、元々は市が部活動地域移行の様々な取り決めをされ、その中で三隅地域は、地域住民と保護者を含めて、市におんぶに抱っこではなく、何かしら地域の子どもたちの受け皿を地域独自で何かしら考えやっていこうじゃないかという熱い思いからレククラブができたというところであり、他とはちょっと違うところがあるかなと思います。

大人が子どもに教えるというスタンスではなく、子どもも大人も一緒に楽しむ、学ぶというスタンスでやっていますので、教員も地域の方も保護者も、そして生徒たちも楽しくやっていこうという点が特徴かと思います。

まだまだ開始したばかりですが、文化祭を1つの目標に、あと大きな目標ですが、第2の香月泰男という地域の方の熱い思いがありますので、本当に丁寧に、マンツーマンで教えていただいております。私も含め誰もが学びたくなるようなクラブですので、ぜひ大事に育てていければなと思います。

■会長

三隅中のレククラブについて、補足がありました。私も第2回の活動にお邪魔しましたが、18人程度の生徒が参加して地域の方や先生たちも一緒に楽しみ、自然な形でいい雰囲気活動されていました。

そのほか何かございませんか。

→ 意見等なし

それでは次の議題に移ります。議題2「各競技種目関係者との協議」について、事務局から説明をお願いするわけですが、第7回の協議会以降、各種団体、文化、スポーツの団体等、準備室が協議を重ねており、その進捗状況の報告になるかと思います。よろしく願います。

■事務局

議題2「各競技種目関係者との協議」について、まずソフトテニスについて、6/18に出席者14名で、顧問教諭、協会の関係者や市職員と協議しました。このソフトテニスについては、JSPPO指導者資格が必要になりますが、市内では2名が取得されており、うち1名は、長門STCという今年新しく発足したクラブチームの代表者が取得しています。この資格保有者がいないと中体連主催試合に出られませんので、確実にその人材を確保しないといけないところですが、今回新規で3名の方が資格の取得に意向を示していただき、既に申し込みを済ませています。市の助成というところも、今回用意していますので、他種目についても、ここは大事なところでそのような人材を確保したいと思います。協議では、特に協会関係者の方からご意見をいただき、素案のチーム構成とチーム数の再考、テニスコートが老朽化していると、雨の水はけが悪く活動が大変とのご指摘がありました。

続いて、バレーボールです。6/25に実施し出席者が17人、部活動の顧問、長門高関係者、市バレーボール協会やスポ少関係者にお集まりいただきました。長門高の顧問、スポ少関係者の方は、指導者資格を既に取得しているとのことでした。教員の方々は、そういった資格がないため、スタートコーチという公認資格の受講をおすすめしました。チーム構成については、ソフトテニスと同様に1年生の入部者数にバラつきがあることと、今後予測される小学校6年生、5年生の人数が少ないことから、素案の3チームだとぎりぎりの状態が予測されます。チームとしては12人以上で構成するのが望ましいという意見があり、今後チーム構成を再考し、早い段階で決めていく必要があると考えています。また、最近では日本代表チームの活躍やアニメの影響から、男子生徒がバレーボールをやりたいという希望があるというところで、練習参加については検討すべきという意見もありました。

続いて剣道です。7/2に出席者12名で、部活動の顧問、市剣道連盟とスポ少関係者で協議をしました。話し合いが2時間以上だったと思いますが、長時間色々と意見交換を行い、平日夕方は、仕事で多くの指導者が派遣困難だということで、今スポ少でそれぞれ活動されている場を活用し、また、現に小学生と一緒に中学生も来て活動している状況も踏まえ、そこに合わせて活動するのがよいのではとの意見がありました。実際、長門と三隅のスポ少が今年から中体連登録をして中学生を受け入れています。ただ活動を各スポ少単位で継続するのか、長門市剣道連盟としてまとめた方がいいのかというところで、今後も継続して協議をしていきたいと思っています。

続きまして、「その他の競技種目」について、少人数や個人との協議をさせていただいております。その中では指導者になることについては、前向きな意向をいただくことがあります。また、スポ少関係者と現状のチーム構成などについて話していますが、野球もまたチーム編成を再考する必要があるのかなと思っています。

最後に意向調査について、9月の実施を予定しています。教員を対象とした調査は、8月中旬に各学校において、教員向けにNクラの概要とこの指導者になる場合の諸条件や今後のスケジュールなどを説明した後、指導者の参加希望などについて意向を伺いたいと思っています。また、チーム構成を考える上で、参加者の意向というのは掴んでおきたいところであり、参加者への意向調査をタイミングを見ながら、小6、中1、中2を対象にやっていきたいと思っています。

■会長

以上で説明は終わるということですがけれども、何かご意見、ご質問等ございませんか。事務局はこの協議はずっと継続していくということですよ。

■事務局

はい、継続して行うとともに、ここにはない種目も今後協議していきます。

■会長

ということですが、また終わりに情報交換の時間を用意していますので、そこでまた気づきの点がありましたら、指摘していただければと思います。

では議題3「クラブの活動日と活動時間」について、これは素案から変更があるということですので、事務局から説明をお願いします。

■事務局

議題3「クラブの活動日と活動時間」について、素案では、平日夏は3月から10月の火・水・金16時20分から17時50分の90分間、冬は10月から3月の火・金16時から17時15分の75分間、休日は、土曜日9時から11時30分の150分間という活動日時としていました。なるべく活動時間を多くという意味で、最大値のような形で設定していましたが、平日は、移動時間を考慮し逆算して、各学校の時程調整を行わなくてはなりません。学校との協議の中で、学校の運営上、夏と冬で時程を分けるのではなくて、年間を通じて統一した時程、下校時間にするのが望ましいとの意見がありました。また、バスで移動してせっかく集まるなら活動自体もしっかり行いたいこと、活動終了後は、暗くなるのが早い時期もあるため、安全面などを考慮する必要もあります。他にも雨などの場合もあるかと思えます。平日夕方の時間帯で活動するということで、やはり週3回となると、指導者を確保する人数が増えることや移動のバスも回数が増えれば当然負担も大きくなるということも含めて総合的に検証し、改めて各学校とも協議し、朝の時間、給食の時間、また掃除の時間などを削減し15時30分から16時までの間を各学校で下校時間として設定する対応について了承を得たところです。

以上を経て、今回、活動日と活動時間を提案します。平日は、年間統一火曜日と木曜日16時15分に活動を開始し、17時15分から45分間の60分から90分とします。終了時間は時期によって変更していきたいと思えます。休日は、素案と同様で、年間統一土曜日9時から11時30分の150分間というところでご提案いたします。

ちなみに参考ですけれども、平日も市営の地域クラブで活動予定の美祢と防府も、平日2日の火曜日と木曜日を予定しています。この活動日時を決めることは、令和7年度の学校の時程や行事をはじめとした年間スケジュールの調整を進められ、また準備室としても予算、経費の算定をやっていく時期を控えた対応、また指導者の確保の際に、火曜日と木曜日、土曜日と設定することでより具体的な説明ができます。また、Nクラの活動日時が決まれば、それ以外の地域クラブの活動日時の設定も色々準備ができます。

以上、本日はこのNクラの活動日時について、提案します。

■会長

今の説明から、検討を進めた結果、平日は週3日としていましたが、実は週2日が現実的であるということになりました。これについて、これから議決を諮ります。今後の予算算定

等も含め、これが基本となってきますので、ご意見をいただければと思います。よろしくお願ひします。

■委員

掃除の時間を削減するというのは分かりますが、朝活動と給食前後というのはどういう時間を指すのでしょうか。

■事務局

移動が遠い菱海や日置は30分近く時間を削減する必要があるということで、掃除の時間にプラスして、朝の授業開始までの時間や、給食の準備時間を5分削って下校時間を早めていくというふうに聞いています。

■委員

それは各学校で同じ対応ということでしょうか。

■事務局

はい。事前に各学校と協議し、調整可能とご回答いただいたところです。

■委員

わかりました。ありがとうございます。

■会長

ありがとうございました。時程の調整については、具体的に学校によっても違うため、個別に協議したということですね。そのほかございませんか。

■委員

素案にあった夏季・冬季の時間割がなくなっています。冬は17時、遠くに帰る人は本当に真っ暗になってきますので、夏季・冬季と時間をきちんと分けた方がいいかと思いますが、いかがですか。

■事務局

終わりの時間につきましては、日没時間が少しずつ変わってきますので、暗くなるのが早い時期で17時15分に終わるということを考えています。ただせっかく集まるといところで最低でも1時間は活動したいと思います。はっきり決めることも今後検討したいと思いますが、柔軟に対応するような形で60分という時期もあればこの時期は70分という対

応もできます。

■委員

例えば、17時15分が早ければ少し延ばしてもいいし、そこは柔軟でいいと思うが、やっぱり終わる時間はピシッと決められた方がバスのスケジュールも割きやすいでしょうし、指導者もこの時間までとやりやすいのではないのでしょうか。

■事務局

Nクラとして、この日の活動時間は17時45分までですというふうに全体で統一した周知をします。

■会長

ありがとうございました。大津緑洋高校の部活動の時間というのは大体どれくらいでしょうか。

■オブザーバー

夏季・冬季で分けて、バスの時間に合わせて大体終わります。最終便は大体19時前後なので、部活動の終わりは18時半から19時の間になります。

■会長

ありがとうございました。そのほかございませんか。

■委員

平日は分かりましたが、土曜日の9時から11時30分について、Nクラとして練習試合とか遠征のようなものは想定しないとの考えからの設定か、それともこれは原則としてそれ以外もあり得るという設定でしょうか。

■事務局

はい、ありがとうございます。原則、活動日はこの時間ということになります。また、この活動時間の中で練習試合をされることはもちろん可能です。例えば、市外に出て練習することも可能です。

ただ、移動は保護者の協力が必要ですし、それがいつもということでは困るので、練習試合の取り決めとかに関する内規を考えたいと思います。試合日の活動時間は別の時間を設定できるよう検討します。

■会長

試合のことが話題になりましたが、年間の公式試合、練習試合は含めませんが、回数は大体どれくらいでしょうか。

■事務局

中体連の大会は、現行の選手権は夏にありますけど、6月に市の予選、7月に県の大会があり、そのあと8月に中国・全国大会があります。それから秋については、新人大会ということで、9月に市の予選があって、10月に県の大会があります。今後Nクラになった場合には市の大会からそれを超える広域予選となっていく種目もあると思います。

以上から、基本的に中体連の公式戦とすれば年に2回です。ちなみに今回の県大会で、仙崎中学校の卓球と深川のバスケットが準優勝し、中国大会に進出しました。また個人でも、水泳、陸上や柔道で中国大会に出られるということで、そういった大会への参加のことなどについては、中体連も含めて協議をしていきたいと思います。

また、市の夏季大会がこの土日に行われましたが、来年度以降の開催については協議をされていると聞いています。

■委員

その市夏季大会について、校長会でも協議しましたが、時期的にもものすごく暑く安心安全な大会運営が難しいと考えています。来年度以降は実施しないということで進めていきたいと思います。

■会長

今言われたように、異常な暑さの中であらゆる工夫をしながらも、ひやひやの中で実施をされていたとのことで致し方ないと部分もあるかと思います。ありがとうございました。

そのほかございませんか。ないようでしたら、本議案「クラブの活動日と時間」について、体制の根幹をなす重要な部分となりますので、これから委員の皆様にお諮りしたいと思います。

平日の活動を年間通して、火・木の2日で活動開始時間を16時15分としたこの新しい案にご賛同いただける方は挙手をお願いします。

→全委員が挙手

ありがとうございました。挙手多数と認めて議決をいただいたと判断します。ありがとうございました。

では、続きまして議題4「生徒の移動計画」について事務局から説明をお願いします。

■事務局

生徒の移動計画について、バスの大きさやバスが貸し出せるラインは、チーム構成や参

加人数によって変動してくるところがあります。あくまでも素案のチーム構成をもとに予測を立て、既存のスクールバスを最大限活用するというで経費の削減を図っていきます。

例えば、各学校の帰宅便、深川中学校であれば深木方面と俵山方面にNクラに参加しない生徒はそのまま帰宅しますが、そのスクールバスを事前に三隅であったり、菱海であったりから発車をさせて生徒を深川に運んで降ろした後、今度はそのバスに深川から帰宅する生徒を乗せるという形をとりたいと思います。

当然スクールバスだけでは足りない部分がありますので、業者からの借上げバス、中型や大型で対応したいと思います。また、小学校のスクールバスも活用できるところは調整していきたいと考えています。

また仙崎中学校以外は、深川から帰校するとき途中で各公民館に停車して降りることができるようにします。例えば、日置であれば途中に改善センターがあります。そちらに途中停まって降りることができます。近所の子はそのまま帰ると思いますし、例えば雨で迎えに来てほしい場合は、改善センターに待機して事務室の電話を無償で使えるようにしますので、保護者に連絡をして迎えに来てもらうことができます。また、なるべくバスに乗ってきた生徒は、バスで日置の方まで帰る、菱海まで帰るということで案内したいと思います。仙崎については、途中で公民館のような場所がないので、校舎1階の渡り廊下付近に待機して、巡回する事務局が保護者への連絡であったりを生徒がちゃんと帰れるまで見守るというような対応を検討したいと思います。

この予算については、中型か大型で金額が大きく違いますが、現在バス業者の方と協議し、見積りの算定をしてもらっている最中です。また既存スクールバスの運行時間が増えるため、そこもあわせて見積りをお願いしています。

最後に懸案事項で、Nクラに参加せず下校する生徒について、現在は下校してまもなくバスが発車していることかと思いますが、待ち時間が増えることが想定されます。また小学校のスクールバスを活用する場合に土曜日はバスが不足する可能性もあります。他にも深川中学校にバスが集中し、指導者の駐車場も必要になってきます。グラウンドの一部を使って駐車場を整備する必要もあるのかなと検討を進めているところです。現在も周辺道路が混雑することがあり、近隣住民の迷惑にならないよう交通安全に配慮する必要があると思います。先程の暗くなるのが早いというところで、特に冬場は、待機場所の公民館まで保護者に迎えに来てもらうことをご理解の上で参加をお願いしますという形で、保護者、参加者に周知をしたいと思います。

■会長

ということで、子どもたちに希望をとって人数が変わる、こちらが予測している人数どおりにはいかないと思います。その際にはバスも大きさの変更等、柔軟に対応していければと思います。

■事務局

はい、そのとおりです。チームがなくなれば、その移動ラインがなくなるという可能性もあります。また新チームになるタイミングでも人数が大きく変わってくるのかと思います。

■会長

まだ未確定のところもありますが、基本はこれで考えているというところで、それと外してはいけないのが、昨日の内部協議でも話題になったのですが、Nクラに参加しない中学生と小学生に大きな影響が出るようなことは絶対に避けなければいけないという大前提です。そこで考慮していくというのでよろしいでしょうか。

■事務局

はい、そのように考えています。

■会長

はい。まだ未確定のところもありますが、ベースは今の方向で進めています。何かご質問、ご意見等ございますか。

■委員

この具体的な人数が分かり、配車計画をある程度立ててからでもいいと思いますが、仙崎中学校について、今通地区から9名がバスを使っています。何かしらの部活動に入っている生徒がほとんどだと思いますが、通常、勉強の道具と部活動の道具が入ったバッグ、大きい荷物を2個持って乗っています。当然Nクラになりますと、大きい荷物を2つ持ってバス移動すると、非常に座りにくい状況が生まれてきます。バスの定数については、少し検討していただけるといいかなと思います。

■事務局

はい、ありがとうございます。そのあたりは私たちも懸念してしまして、また検討したいと思います。

■会長

ありがとうございます。そのほかございますか。

→ 意見なし。

それでは議題4については、現状進めているところですが、詳細な人数の割り振り等でも変わってくるというところです。

議題が4つ終わりました。5番として意見交換の時間をとります。地域移行に関するご意見やご質問何でも結構です。お伺いできればと思いますがいかがでしょうか。

■委員

確認をよろしいでしょうか。クラブ活動の活動日時について、もう決まったことですがもし講師等の都合で、この日時以外で活動する場合は、Nクラとして認めないということでしょうか。

■事務局

基本的にNクラの活動日は、この時間からこの時間までと決めます。そこで保険をかけて謝金もお支払いをしてということになります。

■委員

分かりました。ありがとうございます。

■委員

よろしいですか。Nクラのことはよく分かりましたが、例えば相撲とか、この中に入っていない活動は、中体連の大会に参加することはできるのでしょうか。

■事務局

令和5年度から、地域クラブも中体連の大会に参加できるようになっています、資格とかの要件が色々あり、そこはクリアしていく必要がありますが、現に長門市からは柔道、剣道、あとテニスと陸上が地域クラブとして中体連の大会に参加されています。

■委員

ありがとうございました。

■会長

そのほかよろしいですか。

それではないようでございますので、以上で議題を終了させたいと思います。では進行を事務局にお返しします。

■事務局

ありがとうございました。委員の皆様には最後までご協議いただきありがとうございました。次回の第9回協議会を9月30日月曜日に開催予定ですので、よろしくお祈りします。それでは以上で会議を閉じます。本日はどうもありがとうございました。